

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2021年

8月

192号



◇子宮がんステージ4、奇跡の生還  
◇徳積みのお徳で初孫誕生！

宗教法人 真生会

# 仏の種を育てよう！

『一人が一人、仏縁にお誘いしよう』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

## 輝く蓮の華に浮かぶ真生大観音



青空に向かって真っすぐに伸び凜と咲く見事な蓮の華。透き通るピンクの清楚な輝きに参拝者の心が洗われ、清らかで幸せな気持ちにしてくれます。



総本山真生寺ご宝前

## 胡蝶忌法要 各教会で厳修



学童幼児も献花を捧げた



胡蝶忌感謝賞に喜ぶ名古屋教会信者



大阪教会でも祈りが捧げられた

## 夏季恒例、法華三部経読誦土用修行!!

岐阜教会の読誦修行



法華経を身に付ける基本修行である經典の読誦修行、今年25回目を迎えた土用修行がコロナ禍の中、各教会において熱心に行われた。

熱海土石流災害に義援金、熱海市に寄贈

**いつでも救援基金より¥300,000送金**

平素より各教会設置の救援募金箱にご協力下さい!!

# 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁



分からないことを先生にどんどん質問していく生徒は成績が上がるように、私たちが教えを学ぶにも、先ず話を聞き、質問をしなければ進歩はありません。「聞思修<sup>もんししゆ</sup>」聞いて考えて行う、これを繰り返して生活する人に大きな間違いはありません。私も月一回お師匠様をお迎えし法話を聞き、一ヶ月間の自分の行動の添削を受けています。悪い点があれば教えて下さい、直ちに訂正します。足りない所があれば直ちに補いますという姿勢で聞いております。先生にも喜んで頂け師匠の経験の知恵が頂けますから、安心して進むことができるのです。道でも一人で探し迷っているよりも、交番か地元の道に詳しい人に聞けば、目的地にいち早く到着することができます。

(1978年、真実に生きる3号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
たなか つねひと



## ◇懺悔と徳積み、祈りの力

どんなに科学技術や医学が進んでも、世の中には「まさか」という突然の病気や事故、経済苦、人間関係の不和など困った問題に直面する時があります。これは徳切れの状態なのです。

「徳積みめば、ものは自由になるものを徳も積まずに困る世の人」と教えられますが、地位や権力があっても、学歴があっても、財があっても、徳が切れた時はどうにもなりません。

車に例えれば、どんな高級車でもガソリンタンクに穴が開いて燃料切れとなったら、エンジンが止まってしまい動きません。先ずは穴を塞いで直さなければなりません。これが反省懺悔です。次にカラになったタンクに燃料を補給

すればエンジンは動き出し、走り始めることができます。これが罪障消滅の徳積みです。

困った問題にぶつかった時は、先ず仏様の真理から外れた何か心得間違いの穴が開いていないかをしっかり反省懺悔し切り替えることです。そして、自分の力と問題の大きさに応じて精一杯の徳を積んで神仏のご加護を信じて真剣にお祈りすることが大切です。そうすれば、医学や科学、一般常識では手の打ちようのない状況から奇跡の「まさか」も起こるのです。

#### ◇子宮がんステージ4、奇跡の生還！

「思う一念岩をも通す」の祈願供養の祈りの力と罪障消滅の徳積みの方によつて半年足らずで末期がんから奇跡の生還、職場復帰された事実のお話です。

【今年の一月八日】ある会社の社長さんから支店営業所に勤める五十三歳の大変間に合うベテラン社員が子宮がんステージ4の診断を受け入院することになりました。何とかご法の力で救って頂きたいと相談の電話が入りました。

「会長先生、私が信頼を置く大事な従業員です。何とかご守護が頂けるように病氣平癒の特別祈願をお願いします。ご供養料は銀行送金致しますから」と

真剣なるお電話でした。

丁度お正月の参拝者に授与する真生会独自のおみくじ「仏様の声」の短冊がありましたので私が代わりに引き、どういう心構えでこの難事を乗り越えたらいいのか、仏様の声の解説を致しました。

一枚目は「話し合いで会社発展」と出ました。子宮は子供を産むために必要な臓器です。そして、夫があつてこそ妊娠出来るのですが、その夫に対して長年の間に言うに言われぬ不足不満が溜まって心が腐ってしまったのが子宮が原因です。今日までの不足不満の悪念を水に流し、これからは夫を信頼し、何事も主人とよく話し合うと心を切り替えることです。

これを実行したらどうなるか二枚目の短冊を引きましたら、「北風の後に春が来る」でした。がんのレベル4は北風のような厳しい現実ですが、これ乗り越えて嬉しい春がやって来るといふ仏さまの声です。

「今日から早速、毎日祈願供養に入りますから、これをご本人にしつかり伝えて上げて下さい」とお話しました。

【二月一日】自宅安静から入院。食欲はあり元気そうだと連絡。

【三月十二日】営業所より報告。昨日、病院の帰りに娘に付き添われ、営業所に立ち寄り、「がんが十分の一になり、退院した」との報告有り。顔色もよく非常に元気であったと所長より報告。

【四月二十三日】社長が営業所に出向き本人に会うと仕事に復帰しており、涙ながらに飛んできて、奇跡的回復の喜びを話してくれる。

【六月十一日】営業所において、びっくりするほど元気で現場で働いていました。本人より、毎日一万二千歩を目標に歩いているとの報告があり、急激すぎて体が悲鳴を上げるといけないので、ゆっくり大切に生きるよう助言したと社長より報告がありました。

人生には「知らず知らずのうちに作った罪咎<sup>つみとが</sup>」と言って、自分は正しいと思っ  
ていても、仏様の真理から見ると罪を作っていることが多々あるのです。妙法  
の教え、因果の理法によつて正しい生き方に気付き心を訂正すれば、結果現象  
は必ず変わります。しかし、罪の深さは目には見えませんから、途中であきら  
めたり、怠ることなく、答えが出るまで穴埋めの徳積みを続けることが大切で  
す。積んだ徳は無駄にはなりません。そして積んだ徳は裏切りません。仏様に

積んだ徳積みの貯金は自分で下ろすことは出来ませんが、仏様から見て、その人にとって一番必要な時に必要なだけ与えて下さるのです。

#### ◇徳積みの功德で初孫誕生！

あるお姑さんの陰の徳積み実践の実話です。

三十代半ばで結婚した息子夫婦になかなか子供が授からず、三年の月日が経ちました。高齢出産になると母子ともに負担が大きくなりますから、一日も早くと思っていました。親の方から治療費の応援するから不妊治療を試してみたらとも言い出せず悩んでいました。

大きな願いを達成したり、難問を乗り越え得るために「年齢供養」といつて年の数だけ徳を積むとよいと聞いていましたので、息子の年の数だけ供養をしようとお誓いしましたが、不如意にも手元に大きな金額の持ち合わせがありませんでした。二、三ヶ月後の年明けに満期になる保険がありましたので、満期が来たら徳積みをさせてもらいますからご祈願をお願いしますと、会長先生にお約束しました。

そんな親の陰での徳積みを知らない息子が、お正月に「お母さん、おばあちゃ

んになりたいか？」と突然言いましたから「もちろん、孫の顔は見たいよ」といいますと、「子供が授かったよ」と嬉しい報告です。飛び上がるほどの喜びで会長先生に報告すると「功德が、早かったね」と喜んで頂けました。

その子がすでに小学校四年生になり、会長先生に会うことやお経をあげることとお参りすることが大好きな仏縁深い子に育ちました。最近は真生寺の法要で学童幼年の奉献のリーダーとして子供たちの面倒を見るお世話役として大活躍しています。子供達からお姉ちゃんお姉ちゃんと慕われています。

法要終了後の後片づけの時も率先して動き、一つ片づけが終わったら「次は何をしたらいですか」と大人顔負けの行動力です。

親や家族が胎教中から徳を積み、熱心にお参りして赤ちゃんの頃から仏縁に触れて育った子は、人の面倒を見たり、人の喜ぶことやお手伝いをイキイキとして実行する素晴らしい仏の子として成長していく実例です。

子供の小さい時から、夫婦や家族が揃って<sup>そろ</sup>お参りをし仏縁の深い子供に育てていきましょう。塾に通わせたり、習い事をさせる以上に人格形成に最良の何よりの子育て方法です。

# 釈尊物語

⑫

◇◆刺さった毒矢の譬え◆◇

摩羅迦<sup>マラカ</sup>という哲学好きな弟子がありました。彼は「この宇宙は時間的に無限なのか、有限なのか」「宇宙は空間的に無限なのか有限なのか」「人間の体と靈魂はどういう関係なのか」「死後の世界はあるのかないのか」という哲学的な質問をしばしば釈尊に問いましたが、明確な答えがもらえませんでした。

ある日、それを不満に思ったマラカは、今日答えてもらえなかったら修行を止めて釈尊のもとを去る決意で詰問しました。

釈尊は譬え<sup>たと</sup>をもって諭<sup>さと</sup>されました。

「マラカよ。ここに一人の人がいて毒矢に射<sup>い</sup>られたとしよう。周りの人は驚き、急いで医者を呼ぶであろう。だが、彼は医者の手を押しつけ、矢を射ったのはどんな人か、矢の材質は何で出来ているのか。それが分からぬうちは矢を抜いてはならないと言ったら、彼は一体どういうことになるだろうか。

マラカよ、彼は、それらのことがすべてわかる前に死んでしまわねばならぬではないか。まず目の前の矢を抜くことが先決である。

マラカよ、それと同じことであって、あなたが、これらの問題について私が語るまでは私のもとで清浄の修行はしない

と言っていたら、あなたは遂に清浄の修行をする機会なくして、命を終わらねばならないであろう」釈尊きそんの論によつて穏やかな顔色を取り戻したマラカに釈尊は力強く言われました。

「マラカよ、私の説かないことは、説かぬままに受持するがよろしい。また私の説いたことは、説いたままに受持するがよろしい。

宇宙は永遠か限りがあるのか、宇宙の広がり有限か無限か、肉体と靈魂のこと、死後の存在ことは何事も説かない。それらのことは真理の理解に役に立たず、教えの実践にも役に立たず、究極の目的の実現にも役に立たないからである。」

宇宙の有限無限も死後の存在にしても証明の出来ない問題であり、それよりも「一大事とは今日只今のことであり、ただ今日なすべきことを熱心になせ」ということが、釈尊の本意であつた。

寿量品に「質直意柔軟、一心欲見仏」とあります。この仏説のように仏の教え、師の教えは素直な心で一心に求めれば、結果現象は必ず現れるということです。

この世の中は苦の娑婆であり、苦は無くならない。次々と苦が湧き起こり、消滅し、また湧き起こる。この世は苦とその消滅を経験しながら、自分の人格を磨き、人格の完成を目指し成仏するための修行道場なのです。

# 今月の運勢（9月）

（2021年9月7日～10月7日）

## 一 白水星

大きな山と急流に行く手を阻まれ、進退窮ま<sup>きは</sup>って行き悩むが、ここで音<sup>ね</sup>を上げてはいけない。本領發揮の時である。立ち止まりよく見渡せば活路がある。無理をせず粘り強く柔軟に立ち向えばいい。

## 二 黒土星

主従、目上と目下、年配者と若者がそれぞれの分を守り、心が通じ合えば万事安泰となる。正しい者が盛大となり邪<sup>よこしま</sup>な者が衰退する。自分の長所や美点を伸ばし、短所や欠点を削ることが大切。

## 三 碧木星

時がたてば行き詰まっていた問題も解決に向かうので、慌てず大地のようにどっしり構えていけばよい。まだ問題が残っていたなら、この機に乗じて一気に処理することである。

## 四 緑木星

周囲の人から注目されている。見せかけの形式的言動では通じない。自分自身を振り返り言動を正し、何事にも皆を感服させる誠意を尽くせば最後は慕われ仰ぎ見られる。

## 五 黄土星

好調な時を迎えている。若者と積極的に協働したり、新しく新鮮

な発想でことに臨むとよい。日が昇るように慌てずゆつくりと前進すること。明るい声掛けが運気をあげる。

## 六 白金星

男女の出会い、異質なものととの出会いなど未知との遭遇の妙がある。突然の出会いや望まない出会いに緊張するが、出会いによってよどんだ空気に活が入り活気を取り戻す。

## 七 赤金星

猛暑の夏をひたすら突っ走ってきた身も心もゆつくりと休めよう。実りの秋に備えて英気を養おう。今年になつてから積み上げて

来た道筋をじっくり振り返る時。

## 八 白土星

大いなる蓄財の時。信頼できる徳人のものであらゆる難関を乗り越え、大事を成すことができる。日頃から先祖供養の読経供養がしっかりしてあれば冒険をしても吉となる。

## 九 紫火星

収穫があり本来楽しく過ごせる時だが、表に出せないことや小さな衝突、こぜり合いが起こりやすい。些細なこととはあまり気にしないこと。尊敬できる人に従って行けば幸せになれる。

## 「まごころ誌代」御礼

土川順寛	樋口容子	宮島りえ	田中佑季子	横山都久子
土川恭代	樋口恵美子	谷口祐晟	田中啓予	水田祐記子
土川康二	小俣丈子	谷口祐子	田中宏明	鈴木正巳
土川廣美	荒木敬依子	八色啓泰	亀井善広	京川春男
横山知津子	清崎結斗	三村南央斗	亀井由実子	松本真由美
半澤照子	滝山恵依子	松下若葉	多田敏春	松本裕樹
安田初子	大下裕子	今園達也	足立和美	岸本昌子
伊東 晃	今井純司	宮田雄貴	高橋身衣	東森敦巳
佐藤百々枝	奥田有加	鈴木光隆	早野桂子	四日市某
佐藤光洋	笹原正子	大橋千枝子	早野起世	滝本光夫
増田恵美子	坪井佑介	加納啓至	多田祥子	杉山佳美
山本季美衣	某女	大竹宏実	亀井善二	某氏
小村一紘	出田梓	多田佳央	足立珠紀	加納悠貴
小村友子	村上視佑記	堀部高佑	松尾定洋	加納宏樹
細谷早予子	坂本育身	堀部祐美衣	加藤圭子	加納快志斗
奥田佳代	永田雅子	豊田直正	大橋末子	加納優子
林田早紀子	平口富子	豊田真悠子	多田正幸	沢 君美
池澤幸代	堀田純子	田中庸仁	多田道子	澤 芳子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。  
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

### 《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺  
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地  
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店  
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

## しあわせ眼鏡

悪い結果も  
済んでしまったことは  
いつまでも引きずらない  
前を向いて  
明るい未来を想念しよう  
引きずるな  
新しい悪因となつてしまひ

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |           |  |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>TEL 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>TEL 052 - 351 - 3904  |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り  
します。詳しくはお尋ねください。

2021年8月10日発行 第192(通巻297号)  
※誌代無料(浄財の献金により無料発行しています)